

# 故郷

## への便り



439 ◀◀

### 楠本 昌彦 (53)

白浜町出身

国立がん研究センター中央病院副科長

いまは亡き父の出身地が容易に想像できます。は、朝来帰(あさりき)現在の白浜町椿(つばき)という村で、入り江に沿って民家が立ち並ぶ半農半漁の集落でした。日本の沿岸地域のどこにでも見られるような風光明媚(めいび)な場所ですが、大きな津波が押し寄せると甚大な被害が出ることを



## 津波から村人を守る仕掛け

とです。答えは簡単ですが、いざ実行するとなると難しい。それは、先の東日本大震災の実例をみても明らかです。分かつてはいても、限られた時間内に全員が避難することはとても難しいことでは。

では、どうすればいいのでしょうか。その高台の広場に祠(ほこり)を建て、宗教的側面を持たせ、その神社に至る石の階段を造る。そのため

に「と確認します。幼い子どもにも、同じように教えるのです。朝来帰では「津波からの避難のために高台に神社を造った」という史実は、実は確認できていません。この地の稲荷神社は、嘉禄元

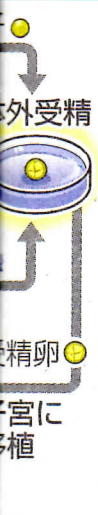
(1225)年に富田の日神社から分祠されたという記録がありますが、その後は文政5(1822)年の現在地での大修造の記録まで、600年間の記録は残っていないのです。しかし、宝永4(1707)年、嘉永7(1854)年、昭和21(1946)年、この地を大津波が襲いましたが、死亡者はそれぞれ3人、なし、1人と、他の地域と比べて際立って少ないのです。このことを考えると、私の神社建立の推論も現実味を帯びてきます。もし本当にそうだったとしたら、先人の知恵と後世への思いの深さは測りしれません。心から敬意を表します。

(参考文献・楠本慎平ほか著「椿温泉郷」1965年刊)  
協力「南紀人材交流センター」

# 卵子提供、3割が肯定的

一アンケート調査

の卵子出産



## 「小学校に新聞」25%

### 図書館調査 NIE

児童の閲覧用として図書館に新聞を置いているのは、ある公立小学校は、昨年5月時点で25%に上り、2010年の前回調査より8.7%上昇したことが文部科学省の調査で分かった。公立中学校も4.7%増え、19%だった。小学校で新聞を教材として活用するNIE(教育に新聞を)の取り組みが全国で広がっており、政府は12年度から5年間、小中学校に新聞1紙を置く費用として毎年15億円を計上。文科省は「年度途中の集計なので、次回調査した。

## 東京と大阪が世界1、2位

生活費、英調査機関が比較

対象に食料品やサービスなど160項目し、指数化した。た。都市の指数が相対的に高かった。今回の調査は、(同一)や(同一)が著しいアンパ

【ロンドン共同】英誌「E」